

\*\*\*\*\*

開講科目名：租税法研究Ⅲ（A）（2単位）

開設年次：1年

開設学部：法学研究科修士課程法学専攻

担当者：宮崎 清幸

\*\*\*\*\*

#### 《授業の概要》

##### 【授業の概要】

租税法の基本的な考え方を理解し、税制が変わっても実務で長く使える要素の構造を把握する。租税法における基本的なアプローチを確認し、なぜそのような考え方や取扱いになるかについて講義し、修士論文作成のための基礎力を要請する。

##### 【評価方法】

レポート、出席及び授業への取組み等総合勘案して評価する。

#### 授業内容（A）前期

- 第1回 はじめに
- 第2回 税とは何か（租税の特徴、租税の種類、租税の機能）
- 第3回 税法とは何か（税法の体系、税法の法源、課税要件）
- 第4回 租税法律主義（課税要件法定主義、課税要件明確主義）
- 第5回 公平負担原則
- 第6回 税法の解釈
- 第7回 借用概念と固有概念（税法と私法）
- 第8回 租税回避
- 第9回 信義則（信義則の意義とその根拠、信義則の適用要件と効果）
- 第10回 リーガル・ライティングとは何か
- 第11回 リーガル・ライティングを実践しよう
- 第12回 重要判例（所得税法）を用いたディベート
- 第13回 重要判例（法人税法）を用いたディベート
- 第14回 リーガル・ライティングの講評、振り返り
- 第15回 前期まとめ

#### 《テキスト》

特に指定しない。

#### 《参考書》

金子宏ほか『ケースブック租税法（第5版）』（2017年、弘文堂）

水野忠恒ほか編『租税判例百選（第6版）』（2016年、有斐閣）

その他、講義の中で適宜紹介する。